

第3回：在宅医療カフェ（旧長浜市）

開催日時 平成26年11月22日（土）15:00～16:40

（地）地域を支援する方 （支）医療福祉支援者 ●タイトル（表札） ◎スローガン

《1Gの意見交換》

◎地域と医療と行政の連携・伝える努力・知る努力

●老々介護

- ・私の地域は余呉地域より高齢化が進み33.5%の高齢化（地）
- ・老々介護（地）
- ・老々介護者が多い自治会（地）
- ・息子たちを地元に住ませたいが勤め先が無い（地）
（東京・名古屋・大阪方面）
- ・老々介護で家族全員が疲れている（支）
- ・老々介護で薬の管理が難しい方がいる（支）
- ・同居している家族がない（高齢者のみ）（支）
- ・老々介護でとても在宅で介護できない（支）
- ・若い家族が高齢者の世話をしない。施設に押し付けようとする（支）

●相談

- ・在宅での看取りを考えたいがどのようにすれば良いのか解らない（地）
- ・不安な時、専門的に教えてほしい（支）
- ・困った時に誰に何処に相談して良いか分からない（支）
- ・どのようなサービスがあるのか（支）
- ・看取り・どうなっていくのか分からない（支）
- ・地域の風潮が病院に行くべきという考えが根強い（支）
- ・医療・交通手段・方法（支）

●かかりつけ医

- ・かかりつけ医 病院（地）
- ・かかりつけ医を決めていない（支）
- ・かかりつけ医を持っていない（支）
- ・その時受診できる所で診てもらっている（支）
- ・地域で往診をしてくれる医師が少ない（支）
- ・往診してくれる医師が誰か知らない（支）
- ・往診して下さる医師が少ない（支）
- ・往診してもらえないDrが少ない（支）

●エンディング

- ・自分の最期を考えていない（支）

●薬

- ・薬剤師不足（支）
- ・薬の管理入院・退院等で変更があった時（支）
- ・薬局でお薬の配達などのサービスが利用できる事が知られていない（利用料金など）（支）



●口腔ケア

- ・口腔ケアの理解が結構進んできたと思う（支）

●地域交流

- ・周りとの繋がり、絆（支）
- ・地域住民との日常的な交流が少ない（支）
- ・近所に頼る人がいない（支）
- ・医療・介護・住民のコミュニケーション不足（支）
- ・専門的な事 ケアマネさん・訪看さん・薬局・往診（支）
- ・広報を読んでいるのは40%程度（支）
- ・老々介護・・・支援側は住民から知ろうとする（支）
- ・地域住民として ～に聞いたら ～に相談したら（支）
- ・医療に関わる 行政に関わる・・・他との繋がり（支）

《2Gの意見交換》

◎オープン ザ ドア

●高齢化

- ・高齢世帯が多い（地）
- ・一人暮らしの老人がおられるがディやケアセンターにかかる程ではなくそういう方の変化を知る必要があると思う（地）
- ・家族と同居していても日中独居の高齢者が多い（支）
- ・旧長浜地区は、若い世代が転入してこないのが高齢化・ドーナツ現象（支）
- ・高齢化30%以上（支）
- ・独居・高齢世帯が多い（支）
- ・高齢者だけの世帯が多い（独居も）（支）

●人間関係

- ・極端に外部の侵入を拒む人がいる（現在ヘルパー2回/週）（地）
- ・サロンを開いても参加する人はいつも決まっていて来ない人も決まっている。そういう方はどうすれば外に出られるの？（地）
- ・孤独、近くに話す人がいない（支）
- ・近所との繋がりが薄くなってきている（皆が高齢化）（支）
- ・食料品などを買える店が近くにない（支）
- ・近所付き合いが希薄（支）

●不便さ

- ・医療施設まで距離がある（支）

●定年後の暮らし

- ・定年退職後の男性たちの孤独化（支）
- ・新しい住人たちの受け入れの工夫（支）

●個人情報

- ・見守り支援カードの作成について何処まで立ち入れれば良いか迷う（地）
- ・個人情報の保護が人間関係を壊す（支）



●医療費

- ・医療負担の増大（支）
- ・介護者の負担（支）

●医療

- ・往診して下さる医師がどれだけいるのかな（支）
- ・往診してくれる医師が増えるといいな（支）
- ・病院の外来患者が多い（支）

●知識不足

- ・健康推進委員は民生委員とは違った視点で生活をフォローできる立場であるが、役員の担い手がなくなりつつあります。どうすれば良いか？（地）
- ・世代を超えた交流の場が余りない（支）
- ・地域で行われている活動がわかるといいな（支）
- ・若い人が無関心（支）
- ・在宅医療の知識がない（支）
- ・介護保険の制度を知（支）らない（15年も経っているのに）（支）
- ・認知症への理解不足（支）
- ・在宅による薬剤師の関与が少ない（支）

《3Gの意見交換》

◎高齢者が元気な内に集まれる場所を作る・・・老人会やサロン

●介護サービス・相談窓口

- ・今まで何気なく思っていたが年を取る事って、病気や日常生活の事が大変やと思う（地）
- ・病気や認知症になったらどうしたらいいのか分からない。
誰に何処に相談に行けばよいのか（地）
- ・介護窓口相談（支）
- ・介護保険サービスの限度がある（支）
- ・あんしん窓口で相談（支）
- ・介護保険サービスはあるが制度が難しく利用に至るまでに、
時間がかかってしまう事がある（支）



●経済

- ・国民年金だけの要介護者だと、福祉施設への入所経費がかかり
生活が苦しくなる（地）
- ・介護する為仕事を辞めざるを得ず経済的に苦しくなる（地）
- ・生活の収入が少ない（支）
- ・がんの治療（看護）にお金がかかる（支）
- ・生活保護にならないギリギリの生活（支）
- ・医療費の支払いができない（支）

●医療

- ・短期入院で退院が早い→すぐに悪化（支）
- ・かかりつけ薬局を持つ 相談（支）
- ・大病院志向（支）



- ・かかりつけ医の充実（支）
- ・往診をしてくれる医院が少ない（支）
- ・認知症専門の診療（支）

●個人情報

- ・個人情報保護法の関係で他人のプライバシーを知り得ない状況にある（地）

●認知症

- ・認知症や衰弱など極限状態で介護している方の現状が世間にわかってもらえない（地）
- ・認知症を介護する介護者のストレス（支）
- ・認知症の方が増えている（支）
- ・認知症を発症されていても本人や周囲が気づかない事で重症化してしまう事がある（支）
- ・認知症の早期発見・治療（支）

●一人暮らし

- ・主人と2人暮らしなので娘や息子の世話にならない様にと毎日で（地）
- ・1人で生活されている方が多い。不安が大きい（地）
- ・日中独居（支）
- ・浴室での死亡が多い（支）
- ・孤独死が多い（支）
- ・一人暮らしの人が多い（支）
- ・高齢世帯、お一人暮らしが増えている（支）
- ・民生委員・ケアマネネットワーク・繋がり（支）

●家族機能

- ・若い人が少ない（支）
- ・介護サービスに頼り家族機能が低下している（支）
- ・寝たきりの人の介護負担（支）
- ・在宅での介護負担（支）
- ・家族に遠慮して家に帰れない（入院・施設）（支）
- ・地域で介護上手に育てる（支）
- ・地域で家族の会（介護者の会）を充実（支）
- ・介護の協力者が必要（支）
- ・若い人は仕事に出ている（支）

●地域の繋がり

- ・町内でサロンや食事会などで高齢者の集まりの場をボランティアによって作っている（地）
- ・町内でも自治会で集まることが少ない（地）
- ・若い人が周囲に少なく支援してもらえない（支）
- ・自治会の力が弱い（支）
- ・多職連携の会がない（支）
- ・市街地はサロンなど集える場が少ない（支）
- ・昔ながらの地域ぐるみの助け合いが減ってきた（支）
- ・近所で助け合い、おかずを作って持っていく（支）

●高齢化

- ・高齢者が多く地域の見守りも高齢者が行っている（地）
- ・高齢率↑（支） 高齢化（支）

●少子化

- ・少子化問題（支）
- ・旧市内の空洞化（支）

●老々介護

- ・介護をされている高齢者も多く、老々介護になっている（地）
- ・老々介護していても、経済的・精神的・肉体的支援が十分に受けられない（地）
- ・老々介護（2人）（支）
- ・高齢者世帯や日中独居などで十分な介護が受けられない状況にある（支）

●国際問題

- ・国際化（支）

～最後、速水先生にまとめて頂く～

このような会には初めて参加

多職種の方と住民の方の「顔の見える連携」になり得た事が最終的に収穫になった。



～あとがき～

今回で3回目の開催、地域包括支援センターの協力もあり、大分スムーズに会が運営できるようになりました。皆さんから提供された課題は、高月町・びわ地区・旧長浜地域においても、一般的な課題と地域の特性的な課題に2分されています。地域の特性課題については、小中学区単位や自治会などで「何ができるだろう」と具体的に話し合ってもらえる事が出来れば、更により町づくりに発展できると思います。グループワークの所感ですが、速水先生のカードは孤立しているけれど、皆が納得できるカードでした。それは定年後の男性の引きこもりやパチンコ依存、家庭内不和などで受診されてケースが多いという事です。家と会社を往復されている方に多いようです。まだまだ余力のある定年後の男性活力を社会参加やボランティア活動に生かして頂きたいなと思いました。このように、日頃お付き合いのない方から考えも及ばない意見を頂き新鮮でした。同様に、参加者の方も同じ思いを受けて頂いたのではないのでしょうか。次回は近江地区を予定していますが、その地域で暮らす方にお知り合いの方がおられましたら、どうぞご参加いただける様に勧めてくださいませ。